

京成電鉄 AE100 スカイライナー

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 鋭い危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器の部品)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

〈組み立てる時の注意〉

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむを得ず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

Nゲージのパーツ交換について

■動力ユニットの取り付け(Nゲージの線路上を走行させることができます。)

●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

●KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用します。シャーシと交換・装着します。

品番11-105	通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
品番11-106	急行電車①: 空気バネ台車タイプ
品番11-107	通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ
品番11-104	テレビ客車用動力ユニット

●KATO製「テレビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。(車体によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)



●トレーラー車への台車取付

●動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

品番11-099	通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
品番11-098	急行電車①: 空気バネ台車タイプ
品番11-097	通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

●各社、割りピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。緩い(硬い)場合は調整してください。

●機関車への動力ユニットの取り付け

●KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このときスカートは外して、シャーシと交換・装着します。

品番11-103	ポケットライン用動力ユニット
----------	----------------

●11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

■パンタグラフの交換

●お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

KATO:11-401	PS14:直流パンタグラフ	グリーンマックス:80-2:PS13:直流パンタグラフ
KATO:11-403	PS22:直流・下枠交換形パンタグラフ	グリーンマックス:80-3:PT42:直流パンタグラフ
KATO:11-404, 11-420	PS16:直流パンタグラフ	グリーンマックス:80-5:PT43:直流パンタグラフ
品番11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。		クロスポイント:PT71C:シングルアームパンタグラフ

●各社、取り付けピンが幅2本のパンタグラフを取り付けられます。

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

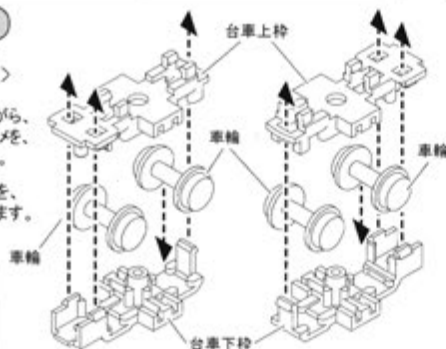
●各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが固い(緩い)場合がありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。

●動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

シャーシの組立

1 <台車の組立>

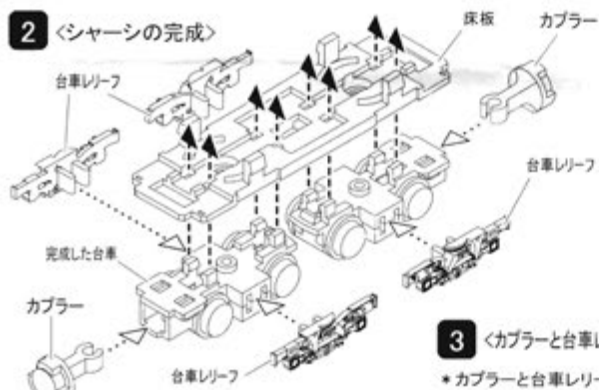
- 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所ツメを、台車上枠に通します。
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。



向きに注意!

台車上枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください

2 <シャーシの完成>



- 出来上がった台車を床板に取付けます。
- 台車の4箇所のツメを床板に通します。

3 <カブラーと台車リーフの取り付け>

- カブラーと台車リーフの取り付けは、先にシャーシを車体に取り付けてから、最後に取り付ける方が楽に作業できます。
- カブラーのマグネットには極性があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。

実車の編成例

上野	8号車	7号車	6号車	5号車 (3連車体)	4号車 (1連車体)	3号車	2号車	1号車	成田
	M2c	M1	T	M1'	M2	T	M1	M2c	
	AE108	AE107	AE106	AE105	AE104	AE103	AE102	AE101	
	AE118	AE117	AE116	AE115	AE114	AE113	AE112	AE111	
	AE128	AE127	AE126	AE125	AE124	AE123	AE122	AE121	
	AE138	AE137	AE136	AE135	AE134	AE133	AE132	AE131	
	AE148	AE147	AE146	AE145	AE144	AE143	AE142	AE141	
	AE158	AE157	AE156	AE155	AE154	AE153	AE152	AE151	
	AE168	AE167	AE166	AE165	AE164	AE163	AE162	AE161	

台車リーフの向きに注意。



カブラー(連結器)について。

ダミーカブラー (先頭車正面などに使用します。)

●連結はできません。

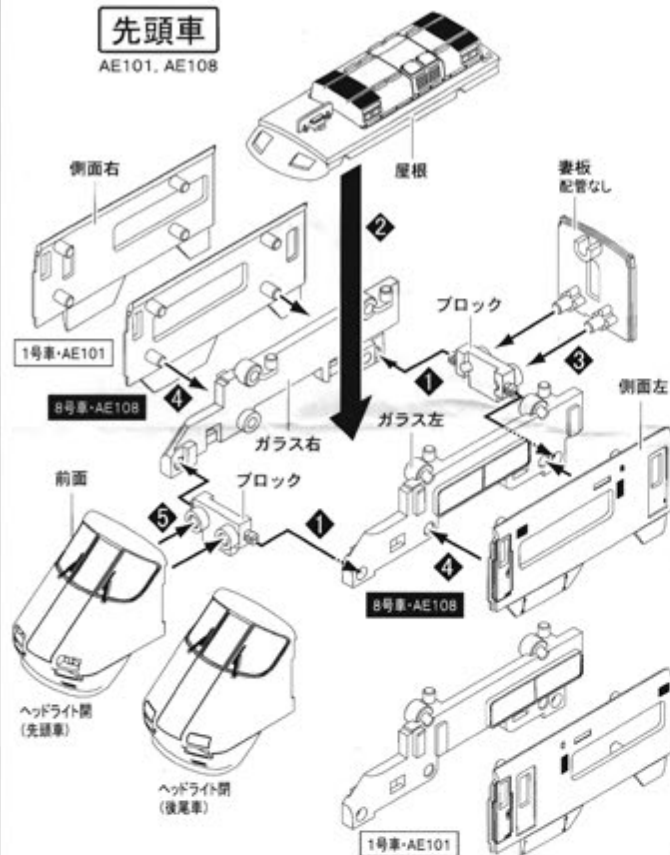


ドローバー (2両を固定連結する場合に使用します。)



先頭車

AE101, AE108

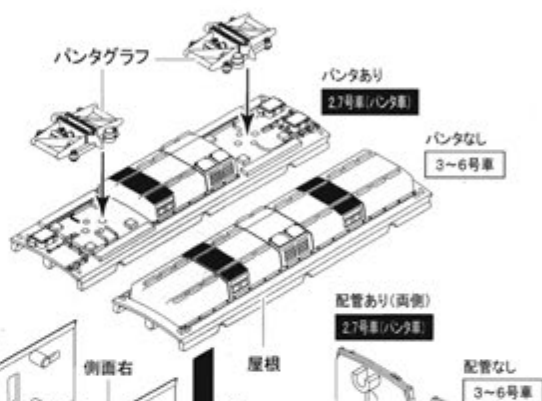


*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

車体の組立て

*取り付け部が圓い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
- ⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。



ステッカーの貼付け位置

*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。
(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものは好みの位置にお貼りください。)



中間車

AE102, AE107(パンタ車)
AE103, AE106
AE105(自販コーナー付き)
(AE104はAE103で代用)


妻板の形状について



車体番号

KE-101	KE-101	KE-111	KE-101	KE-121	KE-121
KE-102	KE-102	KE-112	KE-102	KE-122	KE-122
KE-103	KE-103	KE-113	KE-103	KE-123	KE-123
KE-104	KE-104	KE-114	KE-104	KE-124	KE-124
KE-105	KE-105	KE-115	KE-105	KE-125	KE-125
KE-106	KE-106	KE-116	KE-106	KE-126	KE-126
KE-107	KE-107	KE-117	KE-107	KE-127	KE-127
KE-108	KE-108	KE-118	KE-108	KE-128	KE-128
KE-131	KE-131	KE-141	KE-131	KE-151	KE-151
KE-132	KE-132	KE-142	KE-132	KE-152	KE-152
KE-133	KE-133	KE-143	KE-133	KE-153	KE-153
KE-134	KE-134	KE-144	KE-134	KE-154	KE-154
KE-135	KE-135	KE-145	KE-135	KE-155	KE-155
KE-136	KE-136	KE-146	KE-136	KE-156	KE-156
KE-137	KE-137	KE-147	KE-137	KE-157	KE-157
KE-138	KE-138	KE-148	KE-138	KE-158	KE-158

先頭車・ロゴ

100周年マーク



方向幕

号車番号

コーポレート